

各地で夏祭りのピーク

名物張りぼて天の川 店主ら手作り続ける



阿佐谷パールセンター

JR阿佐谷駅(杉並区)南口から約700メートルに広がる商店街のアーケードに吊り下げられた張りぼてが名物の、商店街振興組合(通称「阿佐谷パールセンター」)の主催。今年は何が出るか、コロナ禍以来4年ぶりに開催された。阿佐谷など住民らを楽しませたいという思いで、張りぼての製作は、店主らから、開店後に店主や従業員らが店頭で骨組みを作ったり、色を塗ったりする場面が見られる。製作過程も風物詩となっている。今回、SNSでも話題になった作品の一つは、お笑いコンビ「阿

てが手作りだから。店主らがその年ごとに流行とアイデアを詰め込んだもので、カラフルなくす玉や吹き流しと一緒に飾るのは阿佐谷独自のスタイルだ。例年、2〜3週間前から、開店後に店主や従業員らが店頭で骨組みを作ったり、色を塗ったりする場面が見られる。製作過程も風物詩となっている。今回、SNSでも話題になった作品の一つは、お笑いコンビ「阿

佐ヶ谷姉妹」を模したものの(写真)。このほか人気アニメのキャラクターなども並んだ。商店街によると、初回は1954年、まだ電気冷蔵庫も珍しかった時代。どうすれば暑められるか考えたという。以来、張りぼて作りを続けている。大がかりなものは古くからの会員が中心だが、近年は地域の学校や団体などから張りぼてを募集し、よりバラエティ豊かな作品が掲出されるようになった。

事務局長の堀尾隆行さんは「今年は事前に『やりませう』という問い合わせをかなり受け、期待されていることがよく分かった」と言う。

期間中は、屋外やセイルもあって大盛況。来街者は100体ほどの張りぼてを一つずつ見上げながら、ゆっくり歩いていた。

商店街大学から



東京合羽橋商店街(振) 第20期生 遠藤和磨さん

かっぱ橋道具街(台東区)は上野と浅草の間にある南北約800メートルで、食器、厨房機器、包装用品、看板、製菓材料など飲食業界に関連する専門店が約170店舗集まっています。

私は野原産業(株)という店舗設計や内装、施工を行う会社に勤めており、商店街大学は、2期生の会長と17期生の社長から勧められ受講しました。実は昨年4月に新卒で入社したばかり。半年後には商店街大学の開講式に出席した形です。

会長からは「地域の中に商店街はない。商店街のことを知らない。商店街のことを理解できない」と言われています。社長からは「いろんな人の考え方を知る機会」と背中を押されました。店舗設計に際し、その

店はどういう地域にあるのか、どんな人が多く住んでいるか、お客になるのか、商店街を俯瞰で見られる社員になってほしいと思われているのです。

商店街大学は、フィールドワークはコロナにかかり欠席しましたが、多種多様な商店街の人、卒業生と交流でき興味深か

「家電を見るのも買うのも好き。いまはイヤホンに凝っています」

マンホール巡って

スマホで「ご当地」探し

東京都

インマンホールの蓋のデザインを巡って、3月まで運営される。スマホで専用サイトにアクセスすると、QRコードにアクセスして、スマホを使って訪

アニメや漫画などデザインした都内の「ご当地マンホール」を巡るデジタルラリーが開かれている。2019年度から東京都は区市町村と連携し、デザ



青井兵和通り

夜会で「外飲み」

青井兵和通り商店街(足立区)は、8月5日、4年ぶりに「青井の夜会」を開いた。つばエキスポレク(足立区)の敷地内にある約400席の通りを車両通行止めにして「外飲み」できるイベントだ。

当日は午後3時から8時まで、輪投げや射的などの子供供、福引、ハンドメイド品などの出店、ライブやダンスのステージショーなどが行われた。

メインは、バル。事前にチケット(2枚セット1500円)を販売し、「おでんや串揚げ」と「ハイボールと焼鳥」など、「電球ソータとテロ」など、参加10店がお得な限定メニューを提供した。

また、昨年オープンした居酒屋が商店街に加入し、さっそく夜会にも参加。この地域の居酒屋では日ごろから、子供供も来てくれる。夜会が地域のひとたちに認識されてきたと感じる」と話す。

また、昨年オープンした居酒屋が商店街に加入し、さっそく夜会にも参加。この地域の居酒屋では日ごろから、子供供も来てくれる。夜会が地域のひとたちに認識されてきたと感じる」と話す。

9月も熱中症警戒

イベントなど対策を

9月になって熱中症警戒アラートは要中エック。

例年7・8月が熱中症警戒アラートが発令される。9月も熱中症警戒アラートが発令される。9月も熱中症警戒アラートが発令される。

9月も熱中症警戒アラートが発令される。9月も熱中症警戒アラートが発令される。

「稼ぐ力」を面的に支援

中小企業が、面的に支援を受ける。商店街等が自らの魅力、地域資源を使い、消費創出に取り組み、消費創出の補助を受ける。専門家が

都のポータルサイト(QRコード)では、環境省の「熱中症警戒アラート」発表状況や「暑さ指数」を確認でき、特にイベント時は、これらをスタッフに周知徹底しておくことも重要。

定期的なアドバイスし地域の面的な稼ぐ力向上につなげる。

2022年度補助正算の4次募集。補助額は3分の2。補助額は上限3000万円。下限200万円。

問い合わせは関東経済産業局の商業振興室(048-600-0317)へ。応募締切は9月15日。

令和5年度 商店街ステップアップ応援事業

TOSHINREN-information

派遣費用 無料

たとえば 下記のような相談に対して 支援・アドバイスいたします

● 売上アップやにぎわい増につながるイベント
● 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
● キャッシュレス・ホームページ導入などIT化
● 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
● 障がい者・高齢者用サイン表示や休憩スペースの設置
● 加入促進・若手の活躍など組織運営
● 商店街の中長期的なありかた・ビジョン
● 来街者に安心・安全な商店街づくり
● 地域と連携した、街の活性化への景観づくり
● 再エネ・省エネ

支援のながれ

お申し込み → 事前打ち合わせ → 日程調整 専門家手配 → 専門家による 支援の実施

WEBにてご案内

専門家の派遣は一つの相談に対して原則5回、最大10回までです。

随時受け付け中 → 東京都商店街振興組合連合会/ステップアップ事務局 ☎03-3547-3787